

トウモロコシ



●特徴

トウモロコシはイネ科の1年草で、コメやムギに並ぶ世界三大穀物のひとつです。

温暖な気候を好み、甘みのある甘味種、ポップコーンなどに使用する爆裂種、家畜の飼料として作られる馬齒種、モチモチとした食感のモチ種などがあります。

●栽培のポイント

【播 種】4月中旬～6月中旬

【定 植】5月下旬～6月中旬

【収 穫】7月上旬～8月下旬

【適 正 温 度】10～30℃

【土壌適応性】pH 5.5～7.5

【おすすめ品種】味来(みらい)390

カクラル84X

ゴールドラッシュ

中南米原産のトウモロコシは夏場によく育ちますが、本来は中温性の作物です。早まきを行う時には必ずトンネルやマルチを使用し、発芽に必要な温度を確保しましょう。極端な乾燥と高温は生育に大きく影響します。必要であれば灌水を行いましょう。

●作業

1 土づくり

植え付けの2週間前位に堆肥と石灰、油粕・化成肥料等を散布し、よく

深耕しておきます。肥料は根を作るために堆肥を十分に混ぜ込みましょう。

2 播種

ポットやセルトレイにタネまき用の培土を入れ、湿らせた後1粒タネを播きます。直播の場合は、70cm幅で30cm間隔の植え穴が開いているマルチを敷き、1穴に2～3粒時きまします。発芽後は1本に間引きを行います。

3 定植

発芽後、本葉が2～3枚で定植します。

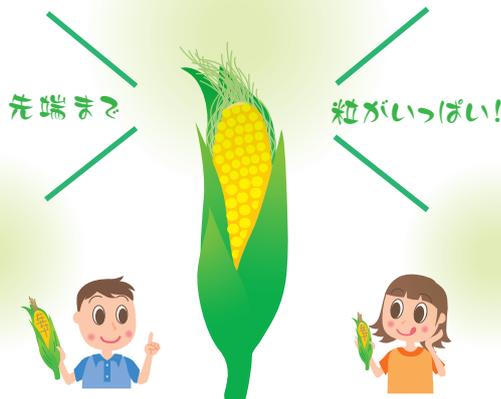
老化苗の定植は避けましょう。本葉が7～8枚程度になったらマルチを剥がし、追肥を行ってから土寄せを行います。地際から伸びる脇芽は取らずにそのまま伸ばしますが、何本も伸びてきたら2本程度に整理しましょう。雄穂が出る頃に2回目の追肥を行いましょう。雄穂が出てきたころと絹糸が出る頃が薬剤の散布適期になります。登録の農薬を散布

しましょう。花粉が落ち切ったのを確認してから雄穂を切り取ると害虫の被害が少なくなります。

4 収穫

開花から約3週間後、絹糸が茶色になった頃が収穫の時期になります。必ず先端まで粒が入っているか確認してから収穫しましょう。

★種や肥料・資材等の購入はJA各グリーンセンターをご利用ください。



彩・菜・栽

2019年
4月